

つぶやきを^{すく}掬って

俳人・エッセイスト 夏井 いつき



「何歳ぐらいから俳句は作れるのでしょうか」こんな質問をよく受けます。「言葉が話せるようになれば誰でも作れますよ」と答えると、とても信じられないという顔をなさいます。

俳句はたった17音です。子どもたちのつぶやきは全て俳句の種です。子どもたちとの会話から、俳句はどんどん生まれてきます。

さなちゃんは3歳。おばあちゃんと俳句を楽しんでいます。「今度のお題は『秋の蝶』、秋のちょうちょさんよ。何かお話し聞かせて」とおばあちゃん。さなちゃんは思いつくままにお話を始めたそうです。「ちょうちょさん追いかけたら逃げていった」と、公園で見かけた蝶の話をしていたさなちゃんが、突然「ほしはゆっくりうごくけど」とつぶやいたのだそうです。さなちゃんのその言葉を^{すく}掬いとったおばあちゃん。素敵な句が生まれました。

あきのちょうほしはゆっくりうごくけど / さな

宇宙の悠久の動きである「ほし」と、死を拒絶するように飛び回る「あきのちょう」の対比は、一句の世界に深い奥行きを作ります。「あきのちょう」も「ほし」も時間の長さは違いますが、いつかは滅びていくもの。静かな滅びの影を読み取ってしまうのは、読者である私たちの深読みではありますが。

たくみ君も3歳。俳句を始めたばかりのお母さん、5歳のおにいちゃんと一緒に俳句作りをしています。お母さんが「名月」という季語に挑もうと、句帳を片手に唸っていました。お母さんは何か発想のヒントが欲しくて子どもたちに話しかけます。「ね

え、名月って知ってる?」「お月さま!」と答えるお兄ちゃんの横で、たくみ君はなぜかダイオウイカの話を始めただそうです。「あのね、あのね、ダイオウイカの目はおおきい!」この言葉にハッとしたのがお母さん。それってスゴイ!と我が子の言葉に感動して書きつけたのが、この一句です。

めいげつやだいおういかのめはおおきい/たくみ

この俳句にはお母さんのコメントが添えられていました。「名月とダイオウイカの取り合わせってなかなかないですね。しかも名月の丸くて大きな感じと、ダイオウイカの目。夜空のイメージと深海のイメージ、悪くないんじゃない?」

お母さんの鑑賞もまた素晴らしい!「名月」はただの満月ではなく、一年に一度の仲秋の名月を愛でる気持ちを含んだ難しい季語です。「だいおういか」という名前との堂々たる取り合わせが天晴れ!そして3歳の息子のつぶやきに詩があることをキャッチできるお母さんもまた、天晴れです。

3歳から6歳ぐらいの子どもの場合は、「俳句を作る」というより、さまざまな体験をお話するところに「俳句の種」が生まれるという言い方が正しいでしょう。子どもたちの言葉に耳を傾け、つぎつぎにこぼれてくる「俳句の種」を掬ってやること。「今の言葉ステキ!」「書いとかないと勿体ないね」と大人が誉めてやるのが、子どもたちの意欲を育てます。言葉が育てば、心が自ずと育っていきます。子どもたちの言葉に耳を傾けてやって下さい。その豊かな時間に、俳句という名の詩が生まれてくるのです。

文部科学省より平成 29 年度幼稚園・保育所・ 認定こども園等の経営実態調査の報告など

11 月 17 日東京・私学会館で常任理事会が開催され 27 人が出席しました。村山十五副会長による開会のあいさつ、香川敬会長によるあいさつの後、議長に園尾憲一副会長、議事録署名人に徳本達之常任理事、石井亮一常任理事が選任されました。

■行政報告

文部科学省初等中等教育局幼児教育課長先崎卓歩氏より平成 29 年度幼稚園・保育所・認定こども園等の経営実態調査集計結果の概要について説明がありました。

■報告案件 1：平成 29 年度上半期決算・監査報告について

田中辰実総務委員長から平成 29 年度上半期決算について、北條泰雅副会長から監査報告について説明がありました。

■報告案件 2：会務運営報告について



各委員会委員長等から委員会活動状況について報告が行われました。

最後に小澤俊通副会長による閉会のあいさつで本常任理事会は閉会しました。

(総務委員長・田中辰実)

● 11.15 政令指定都市特別委員会研修会

第 2 回政令指定都市特別委員会研修会開催

11 月 15 日東京・ホテルグランドパレス九段下で第 2 回政令指定都市特別委員会研修会が開催され、全国から約 160 人が参加しました。

柿迫重正政令指定都市特別委員会委員長のあいさつで開会し、研修会は下記の内容で行われました。
講座 1：「幼稚園における 2 歳児の受け入れと処遇改善（新制度・私学助成）について」
文部科学省初等中等教育局幼児教育課専門官／大野雅史氏

講座 2：パネルディスカッション「今後における新制度の課題」

パネリスト

文部科学省初等中等教育局幼児教育課専門官／大野雅史氏

政令指定都市特別委員会委員／木元茂氏

政令指定都市特別委員会委員／水谷豊三氏

コーディネーター

政令指定都市特別委員会委員／村上順滋氏

パネリストによる発表のあと、質疑応答がなされ活発な意見交換が行われました。

「幼稚園ナビ」スタートしました!!

- 設置者の皆様へ幼稚園ナビ導入セットを10月中旬にお届けしております。(A4 封筒: 右図)
※利用アカウント情報が記載されてますので紛失厳禁です!
- 簡易マニュアルに沿って幼稚園情報の登録と求人募集の登録をお願いします。
- 研修申込みや免許管理など職員の方も普段使い出来るサイトです!



幼稚園ナビとは?

幼稚園ナビは、全日本私立幼稚園連合会が開発を進めている教員免許取得者の人材確保を目的とした幼稚園に関する求人・イベント情報・お役立ち情報を掲載した幼稚園に特化した全国版総合情報ナビサイトです。



幼稚園ナビの特徴

イベント・求人情報を
無料掲載!

1

求人情報の
簡単登録機能!

2

職員の研修・免許
管理機能搭載!

3

求人票 PDF の
自動作成機能

4

ハローワーク求人と
自動連携!

5

自園の魅力を学生に
発信!

6

詳しくはWebサイトをご覧ください

<https://navi.youchien.com/>



お問い合わせ

幼稚園ナビ サポート事務局
担当: 岩崎

☎ 093-647-7330
✉ support@navi.youchien.com

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

★平成 29 年度園長・リーダー研修会

全国から約 140 人が集まり 講義やグループワークが行われる



▲安家周一全日私幼研究機構副理事長



▲秋田喜代美東京大学大学院教授

11 月 22 日・23 日の 2 日間にわたり（公財）全日私幼研究機構の「平成 29 年度園長・リーダー研修会」が東京大学福武ホールラーニングシアターにて開催されました。全国各地から約 140 人の私立幼稚園の園長等が参加し、講義やグループワークが行われました。詳細は以下の通りになります。

●1 日目

まず初めに（公財）全日私幼研究機構安家周一副

理事長より開会の挨拶が行われた後、「園長・リーダーの学びとは」をテーマに講義が行われました。続いて、東京大学大学院秋田喜代美教授より「教育課程の編成と見直しについて：幼稚園教育要領の改訂をふまえて」をテーマに講義が行われました。それから、「連携するための園の組織づくり①②」と題し、大妻女子大学岡健教授による講義と事前課題を基に参加者同士による意見交換が行われました。



新しいものを見るたび、触れるたび、
目覚ましく成長する子どもたち。
子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。
育む環境で、子どもたちの明日は変わる。
だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。
好奇心や想像力、勇気や感動。
そして、子ども同士の関わり合い。
子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、
最良な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



ジャクエツ



▲岡健大妻女子大学教授



▲加藤繁美山梨大学大学院教授



▲白石正久龍谷大学教授



▲本田史子文部科学省初等中等教育局幼児教育課子育て支援指導官

研修会終了後には懇親会が行われ、参加者と研究者が交流を深めました。

●2日目

午前中の研修では講師に山梨大学大学院加藤繁美教授を迎え、「質の高い保育を生み出すリーダーシップ①②」をテーマに講義とグループワークが行われ、各自持ち寄った課題をもとに参加者同士で意見交換が行われました。

昼食休憩後、「発達の道すじと指導の視点」をテーマに龍谷大学白石正久教授による講義が行われました。最後に、文部科学省初等中等教育局幼児教育課子育て支援指導官本田史子氏を迎え、「日本の幼児教育の現在と未来」をテーマに講演いただきました。

（公財）全日私幼研究機構宮下友美恵研究研修委員長の閉会のあいさつとともに、2日間にわたる園長・リーダー研修会は終了しました。

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

積極的に研修に参加し、その履歴を研修ハンドブックに記録しておきましょう。

監修

公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

新版 研修ハンドブック

4103501 **756円**（本体 700円）

- B6判
- 120ページ
- ビニールカバー入り

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

株式会社 世界文化社 ワンダー事業本部
TEL03-3262-5128



10月16日・17日、大分県大分市において開催された全日私幼連・第33回設置者・園長全国研修大会の2日目は「教育」「振興」「経営」「認定こども園」の各研究講座に分かれて行われました。今号では研究講座の概要をご紹介します。

研究講座1・教育

「幼児教育の質向上をめざした カリキュラム・マネジメント」

【第1部】 基調講演 講師 國學院大學教授 神長美津子 氏

【第2部】 パネルディスカッション

「幼稚園等におけるカリキュラム・マネジメントの現状と課題」

【パネリスト】 全日私幼連教育研究委員会副委員長 加藤 篤彦 氏

全日私幼連教育研究委員会副委員長 川原恒太郎 氏

全日私幼連教育研究委員会専門委員 安達 譲 氏

【コーディネーター】 全日私幼連教育研究委員会委員長 宮下友美恵 氏

新しい幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、各園におけるカリキュラム・マネジメントの重要性が示されています。その取り組みは、決して新しいことではありませんし、イメージでは理解することができるのですが、具体的な実践となると、「どうすればいいの?」という声があるのも事実です。そこで、本研究講座では、カリキュラム・マネジメントの基本的な考え方を学ぶとともに、その実践例を聞く機会を通して、自園のカリキュラム・マネジメントのあり方を考える機会となりました。

【基調講演】

神長美津子氏より、カリキュラム・マネジメント全般の解説がありました。ポイントを整理すると、以下のようになります。

①目的あつてのカリキュラム・マネジメント

単にカリキュラムの見直しというだけでなく、「幼児教育の質向上をめざす」という目的があるべきであり、具体的には「資質・能力の育成」に向けて取り組むことが大切である。

②意義や目的の共有

子どもたちの育ちをしっかりと保証していくためには、質向上がカリキュラム・マネジメントの目的であることや、園の人的・物的な資源を最大限に利

用して改善を図っていくという考え方を、教職員で共通理解することが求められる。

③教育課程と日々の実践

教育課程と日々の実践を結びつけるのは簡単なことではないが、日々の実践が、教育課程の「ここ」とつながっているということを、若い先生には意識させたい。

他にも、学校評価はカリキュラム・マネジメントそのものであるという話もありました。

【パネルディスカッション】

各園では、どのようにカリキュラム・マネジメントを実践しているのか、宮下友美恵教育研究委員長のコーディネートで、教育研究委員が園長を務める3園の事例発表をもとに、具体的な取り組みについて考える時間となりました。以下、各園の発表の要旨です。

①大分県・認定こども園ひまわり幼稚園

園長 川原恒太郎先生

数年前から、いままでの保育のあり方やカリキュラムを見直すことにした。全教職員で研修を行うことから始めたが、大きな変化のきっかけとなったのは、27年度に実施したECEQ（公開保育を活用した幼児教育の質向上システム）である。これを機に職員の意識が変わり、子どもたちの今の姿を日々見

取りながら、教育課程を変えていけるようになった。また、子どもたちを肯定的にとらえるようになると同時に、職員同士でも、相手の考えを肯定的に受け止められるようになり、話し合いも活性化した。

②大阪府・認定こども園せんりひじり幼稚園

園長 安達譲先生

園では、各クラスの今の子どもたちの様子を語るようにしているが、その際は、「子どもがこんなふうに育ってうれしい」という肯定的な視点で、写真を手に親しい相手に語る雰囲気で行っている。各クラスで共通する姿がこの時期の各学年の姿であり、その姿を踏まえてカリキュラムを編成している。園内の共有だけでなく、地域社会や保護者との共有・連携も大切にしている。例えば、「写真で見る教育課程」は、経験の浅い職員でも見通しをもって保育ができるように工夫したものだが、これを紙芝居風にして保護者に伝える機会をつくった。

③武蔵野東第一・第二幼稚園

園長 加藤篤彦先生

教育課程をどう位置付けて共有するか、そのためには「見える化」と「共有化」がキーワードとなる。地域や保護者と共有する手段として、例えば、各ク

ラスの前には、月1回くらいのペースでドキュメンテーションを貼り出しているし、研究大会等で発表したポスターをロビーに掲示している。今、写真から読み取る精度が求められていると思うが、それが家庭での会話や、家庭での子どもの姿の意味付けになればいい。私たちの発信が保護者自身の学びにつながり、子どもの姿をもとにして互いに育ち合う関係性でありたい。

最後に、コーディネーターの宮下先生から、カリキュラム・マネジメントは子どもたちの幸せにつながっていくことなので、今日の研究講座を通して、参加者の方の心の中に何か芽生え、新たな発見があり、今後の推進力を得てくれたのであればうれしいというまとめがあり、3時間の充実した研究講座が終了となりました。カリキュラム・マネジメントを難しいことと考えずに、まずは職員全員が保育の質向上への期待感を持ちながら、できることから取り組んでいくという歩みを着実に進めることが、学び合い探求する園文化を育んでいくように思われます。

(全日私幼連教育研究委員会委員、北海道札幌市・大通幼稚園／藪淳一)

研究講座2・振興

「今後の私立幼稚園の振興をめざして」

【パネリスト】	文部科学省初等中等教育局幼児教育課専門官	大野 雅史 氏
	全日私幼連副会長	小澤 俊通 氏
	全日私幼連政策委員会委員	鈴木 教義 氏
	全日私幼連政策委員会委員	山崎 拓史 氏
【コーディネーター】	全日私幼連政策委員会委員長	坪井 久也 氏

司会者の自己紹介後、日程および質問の手順等の説明後開会されました。

坪井政策委員会委員長より、幼児教育の無償化が団体としての目標であり、2歳児の受け入れ等について環境が大きく動いている中で「幼児教育の振興」のための議論を深めることが目的であると示されました。

最初に、千葉の鈴木政策委員から次の3点の説明

がなされました。

①千葉県の現状報告は、幼稚園数と園児数は減少、一方で待機児童数は増加し、1歳児が全体の6割を占めています。また、認定こども園の移行率が、平成30年度に13%と全国平均より相当低い状況にあります。その理由としては、アンケート結果によれば私学助成で十分に運営できる、私学の独自制を維持したい、教育の質を維持するには私学助成の方

が良い、地域行政との関係の構築に不安がある、事務負担の増大に懸念がある、地域によっては園児数減少に逼迫感がない等が挙げられます。

②2歳児の受け入れについて、教育効果や園児の安定確保などの観点がメリットとして考えられます。しかし、公的支援・人材確保・施設整備・安全管理の面で懸念事項がデメリットとして挙げられました。次に、千葉市や船橋市における一時預かり事業についての説明、2歳児受け入れに関する私学助成の可能性と教育効果等の検証も提示されました。

③人材確保について質量ともに確保できていると回答が全体の3割以下で、残りの7割は質と量の双方もしくはいずれかに不満を抱える現状となっています。そのような状況において人材確保のための課題と方策は、教職員の処遇改善方法、定着率アップ、就業支援の大きく3つの対策の必要性が言及されました。

次に、愛知の山崎政策委員より、北陸東海地区の現状報告としては、幼稚園および園児数の減少の一方にも関わらず、ここでも認定こども園の移行率が低いことが資料で提示されました。また、愛知県大治町の自園において2歳児や満3歳児の教育・保育を実施している中で、2歳児の保育についての留意点・問題点等の実績報告がありました。

両委員の発表を受けて小澤副会長より、幼保の格差をなくすこと、2歳児の受け入れについては、意欲のある園に対して支援を行い、幼児教育の無償化や幼児教育振興法の成立を目指すこと、公定価格が下がることがないように団体として尽力する旨の発言を得ました。

最後に行政報告として大野専門官より、全国の現状報告と私立幼稚園の新制度の移行状況、子育て安心プランに対する概要説明や人材確保の全国的取り

組み、また2歳児の幼稚園における受け入れの展望についての説明もありました。政府方針として、3～5歳までは全ての幼稚園ならびに保育所の無償化、0～2歳の低所得世帯に限った無償化が、消費税10%の引き上げで実現するとの方向性が示されました。また、幼児教育振興法は議員立法であるが、文科省としても成立に助力していくこと、さらには、認定こども園に移行する園の支援に偏るのではなく、私学助成園についても従来以上に支援をする方針であることが示されました。

最後の質疑応答では、まず私学助成園における処遇改善についての制度設計等に質問が集中しました。回答は、各県の裁量に委ねられているため、各都道府県の地域格差が大きいことも回答として挙げられました。次に、2歳児受け入れについて財政的にも運営的にも保育所同等なのかとの問いに対して、具体的な決定ではないが文科省としては財政的には同等で、運営的には幼稚園が使いやすい基準を構築中とのことでした。



(全日私幼連政策委員会委員、熊本県阿蘇郡小国町・小国幼稚園／大矢野隆嗣)

研究講座3・経営

「事例からみる危機管理研修～あなたの園は大丈夫ですか?～」

【講師】 株式会社アイギス代表取締役 脇 貴志 氏
 【事例提供者】 全日私幼連経営研究委員会委員 遠藤 英昌 氏
 全日私幼連経営研究委員会委員 鮎川 剛 氏

研究講座3・経営では、今年度、株式会社アイギス 協社長と全日本私立幼稚園連合会経営研究委員会とが共同で作成に取り組んだ「幼稚園経営防衛マニュアル」の解説と事例提供者による具体的な事例の提示に則して危機管理専門家としての協社長からの助言をいただきました。

具体的事例①「自園が放火された」：5年前、自園が夜間に放火されました。幸い発見が早く大事に至りませんでしたが、園の防犯カメラの画像から近所に住んでいる男が逮捕されました。むしゃくしゃした気分で行犯に及んだとのことで、近隣の自動車なども壊されていました。・・・この男が出所後、園を逆恨みし、園に危害を加えることを危惧しています。

講師からのアドバイス：不審者対応の際は自身の役割を明確に位置付けておく必要があります。例えば警察は犯人を捕まえる役割ですし、園の関係者は園児に危害を及ぼさないようにするのが最大の役割です。従って無理に不審者を捕まえることは考えず、不審者を追い払う、不審者から園児を逃がすことに最大限注力すべきです。今回の事例についても警察との連携を事前に行っておくことをおすすめします。

具体的事例②「事故防止委員会の実施」：施設型給付を受ける園については事故防止の取り組みが義務化されています。具体的には1.事故防止マニュアル作成2.事故発生時の報告3.再発防止4.事故防止委員会の実施5.研修の実施となっています。その中の「事故防止委員会」を実施した事例報告です。保育事故データベースに報告されている保育事故の事例を見ながら、事故防止の取り組みを行うことの重要性を感じ、実際の職員の常勤・非常勤・正規雇用・非正規雇用の枠を超えて事故防止委員会を実施して、事故防止の意識を職員で共有したいと考えました。

講師からのアドバイス：事故には予防できる事故と予防できない事故があります。予防できる事故は①原因と結果の因果関係がある②原因の発見を誰でもできる③原因を取り除くことができるの3点を満たしている条件下で予防することができます。し

かしながら予防できない事故も数多くあり、そのような事故に遭遇してしまった場合、過去の時間の使い方（安全への配慮時間）が問われることとなります。安全は過去の時間の積み上げで作られていくものといえます。民法上、園児は「責任無能力者」職員は「監督責任者」園長・設置者は「使用責任者」と位置付けられます。保育事故が起こった場合、最も責任を問われるのは「監督責任者」つまり職員です。事故防止委員会等を通じて職員の知識と意識を向上させることはとても重要です。

幼稚園経営防衛マニュアルの解説：このマニュアルには数多くの事故事例が載せられています。実際の事例を学ぶことで得ることはとても多いです。事故現場は千差万別なのでこの方法がベストだといえるものはありません。しかしながら事故対応の現場で非常に重要な要素は初期対応となります。事故対応の心構えとして園は常に「加害者意識」をもって対応することが必須で、謝罪することに躊躇してはいけません。

事故防止の最前線にいるのは職員です。職員の人間性、社会性に磨きを掛けていくことが大切です。安全に完成というものはありません。1分60秒間のうち59秒は子どもの保育内容のことを考えていても1秒は安全のことを考えてほしいと思います。



（全日私幼連経営研究委員会委員、山梨県甲斐市・かおり幼稚園／鮎川剛）

研究講座4・認定こども園

「課題と見直しに向けて」

【パネリスト】 内閣府子ども・子育て本部参事官（認定こども園担当）

	安田 伸 氏
全日私幼連認定こども園委員会副委員長	濱川 喜亘 氏
全日私幼連認定こども園委員会委員	長岡 龍男 氏
全日私幼連認定こども園委員会委員	安本 照正 氏
全日私幼連認定こども園委員会専門委員	小島 聖 氏
【コーディネーター】 全日私幼連認定こども園委員会委員	橋本 幸雄 氏

今回の認定こども園委員会からの分科会では、新制度がスタートして2年間の経過、新制度の状況や各地域の実情を報告いたしました。

まずは内閣府の参事官安田様より、新制度の現状についてご解説いただきました。前段は、制度のおさらいで新規移行を考えている園に向けて発信していただき、後段で選挙直前における総理発言などを解説いただきました。その中で、「幼児教育の無償化も一気に進めます。2020年度までに3～5歳は全てのこども達の幼稚園や保育園の費用を無償化します。0～2歳児も、所得の低い世帯では全面的に無償化します。待機児童解消を目指す安倍内閣の決意は揺らぎません。本年6月に策定した子育て安心プランを前倒しし、2020年度までに32万人分の受け皿整備を進めます。」というコメントを披露、また、その際の施設の基準などに絡む注意喚起、不備の内容に釘を刺されていました。

また、研修会時点でわかる範囲の処遇改善加算2についても解説されましたが、具体的な研修要件などについては検討の域を出ませんでした。

次いで、委員からは東京、愛知、大阪の実状の報告がされました。

東京では、私立幼稚園の独自補助が充実している為、移行に対して幼稚園団体・行政共に新制度への志向が低く、都内の23区以外の市町村で移行を進めたい園が、施設給付金と従来の補助金との整合性や保護者負担額の不公平で困っているという内容でした。

愛知からは移行が進まない要因を整理し、園側の

要因として、収入の格差・手続き事務の膨大さ・利用者負担額の不公平・保育カリキュラムの課題・労務管理への不安が挙げられました。行政側の要因として、市町村負担費用の増・理解不足・施設類型の制限・移行特例の無理解が挙げられました。

大阪からは、すでに独自で無償化を実施している二つの市を例に挙げ、対象を教育部分の無償化に限定し、他部局から予算を充当したとされる大阪市と、0～5歳までの全員を対象にした上、過去の市単独補助を削ってその費用に充てたという、守口市の例を示した内容でした。



（全日私幼連認定こども園委員会委員、大阪府河内長野市・えびーく幼稚園／安本照正）

日本私立学校振興・共済事業団からのお知らせ

私学事業団では、さまざまな刊行物を発行しています。
幼稚園の教職員の皆様、ぜひ、ご活用ください。



●学校法人等向けに配付しています

月報私学

皆様の業務や暮らしにお役立て
ください。



毎月発行
私学事業団からのお知らせや
連載記事等が満載です。
学校からの応募写真が毎号の
表紙を飾ります。

今日の私学財政



毎年発行
学校法人の財政状況について
集計・分析したものです。

●加入者全員に配付しています

加入者向広報
共済だより

レター



奇数月1日発行
私学共済制度に関するお知らせや、健康・旅行など、幅広いジャンルの情報をお届けしています。

私学共済ブック



「保健・宿泊編」 毎年6月発行
日常生活や健康保持、レジャー
に使えるお得な情報を掲載し
ています。



「給付編」 隔年11月発行
私学共済制度のあらましと健康
保険や年金の給付について
まとめています。

日本私立学校振興・共済事業団
企画室

〒102-8145 千代田区富士見1-10-12
☎ 03 (3230) 7809~7811
✉ kikaku@shigaku.go.jp

今月号より「第8回幼児教育実践学会」で行われた口頭発表・ポスター発表の概要を順次掲載いたします。本誌への掲載は、本財団の研究研修委員会にて選定した発表概要を掲載しております。

地区におけるECEQコーディネーター養成カリキュラムの作成

岡 健 (大妻女子大学)

公社) 東京都私立幼稚園幼児教育研修会 研究委員会

はじめに

ECEQ 実施園は全国で着実に増加している。併せてコーディネーターハンドブックもこの実践の積み重ねを踏まえて充実がはかられている。同時に、ECEQ コーディネーター (以下、Co と表記) への期待も高まっている。これからさらに多くの Co の養成が必要になっている今、養成の充実が求められている。

今までの Co 養成は、このプロジェクトを立ち上げた経験豊富なスタッフによる経験値ベースで研修が組み立てられていた。そこで当研究では、この養成カリキュラムを深めるために、東京都私立幼稚園研修会内で研究委員会を組織して検討をしてきた。

I ECEQ 養成カリキュラムについて

—教育要領改訂とのつながりを考える

その方法としては、まず、養成に必要な知識技能とは何であるか、ECEQ システムを開発する中で話し合ってきたポイントやキーワード、また今までの養成講座で取り扱われた内容、また現行の ECEQ 養成ハンドブックの内容から一覧に書き出し、その上で、平成 29 年度に機構において実施された養成講座 (6 月 27 日～28 日) での内容を抽出することからスタートした。今後はこの内容からさらに精査して、2 日間という期間の中で、どの内容をいつ講習すべきかについて検討を続ける。(図

1・抽出した図の一部)

次に、幼稚園教育要領の改訂とのかかわりにおいて、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について (答申)」(平成 24 年 8 月 28 日中央教育審議会) から「社会に開かれた教育課程」に込められた願いである、これからの時代をた

	幼稚園幼児指導要領	
	育ちの姿で育つという意味の理解	講座 I 岡先生
	環境を通して行う教育を基本とする意味の理解	
	環境構成、西村氏	
	保育者の関わり(援助の在り方)への理解	
	幼児との信頼関係の構築	
	幼児の主体的な活動の尊重	講座 II 岡先生
	遊びを通しての総合的な指導	
	一人一人の発達に合った指導	
	保育者の役割と多様な関わりについて	
	様々な指導方法、保育形態について	
	保育者の協力	
	園内外の研修・研究への理解	
	実達の省察(保育の振り返り)	
	園内での研修や研究	
	園外の研修や研究への参加	
	公開保育への参加	
	自園での実施	
	同僚性	
2	幼児教育の世界の動向の理解	講座 I 田中理事長
3	ECEQの理解	
	ECEQの意義と目的	講座 II 宮下委員長
	全体構造の理解	講座 II 宮下委員長
	STEP1の理解	
	目的	講座 I 岡先生

くましく生き抜く子を育てるために教師に求められる 2 つのポイントがまさに ECEQ の取り組みと合致していることに着目して、ECEQ がこれからの時代に求められる取り組みであることを記述した。ポイントは次の 2 点である。1. 「学び続ける教師像」2. 「総合的な人間力」…豊かな人間性や社会性、コミュニケーション力、同僚とチームで対応する力、地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力等であり、まさに学び続ける幼稚園 (教師のチーム) と連携と協働ができる教師の育成としてまとめられる。

II ECEQ Co のファシリテート

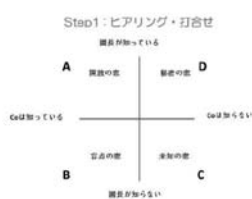
—「ジョハリの窓」から構造を再確認する

ECEQ がスタートして 4 年。その有効性が浸透している中で、次の 2 点が気になる点としてあがってきた。①Co 自身の保育観が全面に出てしまい実施園が望まない方向づけをしてしまうこと②園の課題が見えてきても、実施園が気づくところまで話を展開できず褒めて終わりにしてしまうことである。そこで Co の役割を再検討することにした。基本的には様々な仕掛けや手法を用いて公開園の園長先生や保育者の聞き取りから、当事者が気づいていない気づきを促すことや、公開園が秘密にしておきたいことに Co が気づくことが必要で、この「気づき」

が大切な視点となる。本発表では、「ジョハリの窓」(対人関係における気づきのグラフモデル)の観点を取り入れ Step1～5を見直した。ジョハリの窓の観点で Co のファシリテーションの構造を理解することで、Co の役割は、実施園の「課題」の明確化と共有化にあるという着眼点を得た。STEP の進行に伴い、実施園の当事者(園長や保育者)の位相が変化する。その知識のその一つとして「ジョハリの窓」のそれぞれ象限での「枠の概念」と「気づきの拡大」から捉えると整理しやすい。その例を Co の流れにそってまとめる。



Step1



STEP1 での当事者は園長である。Co によるヒアリングにより園長にとっての「課題」が明確化され、

Co との間でも共有化される。さらに園長にとっての「課題」以外で Co が気になることがあった場合に、園長は「未知なのか」「秘密にしたいのか」を整理しておく。

Step2

当事者は「個々の保育者」となる。個々の保育者の「課題」が明確化され、ファシリテーションによって保育者同士に共有化され、「課題」となる。さらに個々の保育者が持っている課題は他保育者にとって「既知のもの」「未知のもの」「秘密あり」であるのかを、Co が意識して取り組むことで、保育者同士の気づきの領域が広がる。

このワークにおいては、さらに園長の思いをつなぐという視点が必要である。ワークによって保育者

の「課題」が明確化・共有化されたものは園長との間で明確化・共有されれば園の課題となる。

また、園長の課題意識や園長自身が隠しておきたい意識をすり合わせ、その上で新たに共有化されたことは、開かれた「園としての課題」となる。

Step3—問いづくり

Step4

当事者は「園」である。園にとっての「課題」は、すでに STEP2 までで明確化されている。STEP3 はその明確化された「課題」への気づきを、園として促すために「問い」という形で参加者に提示されている。STEP4 では、さらに協議会参加者との間で、明確化と共有化が意識的に促される必要である。Co としては、協議会に外部の参加者が加わることで、園にとっての「未知のもの」を共有する気づきに広げ、また、「秘密あり」の部分の取り扱いについては、協議に取り入れるかを慎重に判断する必要がある。

(あくまでも気づきの主体は実施園である)

Step5

当事者は「園」である。園にとっての「課題」が「付箋、協議会参加者の意見や感想」が園の保育者同士や管理職との間で共有化される。園にとっての「課題」を明確化するにあたり、「付箋、協議会参加者の意見や感想」を既知のものとするのか、未知のものとするのか、秘密ありと考えるのかを、Co は考えながら進行する。

まとめ

「ジョハリの窓」という整理を通して、縦軸と横軸を置くことで、それぞれの関係性が整理され「気づく」こと意味を捉えた対応できる。「知っていること」と「知らないこと」の組み合わせを把握することで、Co の構えが作りやすい。秘密にしておきたいことがわかると安心して次のチャンスに移せる。気づきのチャンスは何度でも訪れる。

私幼時報では、平成 29 年 9 月号から平成 30 年 3 月号の 7 回にわたり、平成 29 年 3 月 12 日に開催された 2016 年度・発達保育実践政策学センター (Cedep) の公開シンポジウム「乳幼児期からの縦断研究：幸せな人生のために何が必要か」の内容を報告します。今号はドイツ青少年研究所 (D J I)・ベルナルド＝カリッキ博士の第 2 回目の講演報告になります。なおこの報告は便宜上一人称で書きますが、全て引用という訳ではなく、一部平林祥先生 (大阪・ひかり幼稚園) が加筆・修正をしておりますことをご了承ください。当日配付されたスライド資料は、発達保育実践政策学センターのシンポジウム報告ページ (http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/project_report/symposiumseminar/sympo_20170312/) からダウンロードできますので、ご参照ください。

ドイツ青少年研究所 (D J I) ベルナルド＝カリッキ博士／講演概要

ドイツの E C E C (乳幼児教育・ケア) における 改革と縦断研究の貢献

【長期縦断研究・母親の抑鬱尺度】

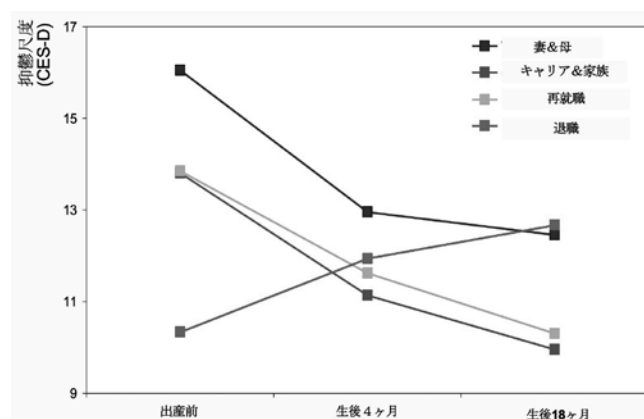
私たちはこの結果を受けて、就労状況の変化が母親の幸福感や人生の満足感にどのような影響を及ぼすのかを調べていきました。この調査では、「出産前」と「子どもの生後 18 ヶ月 (以下、生後 18 ヶ月)」の 2 時点を取り、それぞれの時点での女性の就労状況によって 4 つのグループに分類し、それぞれを比較して分析しました。

グループ名	出産前	生後18ヶ月
妻&母	就労 ×	就労 ×
キャリア&家族	就労 ○	就労 ○
再就職	就労 ×	就労 ○
退職	就労 ○	就労 ×

▲表 1：出産前後の就労状況による分類

出産前と生後 18 ヶ月のどちらでも就労していない人は「妻 & 母」、出産前と生後 18 ヶ月のどちらでも就労している人は「キャリア & 家族」、出産

前は就労しておらず、生後 18 ヶ月では就労している人は「再就職」、出産前は就労していて、生後 18 ヶ月では就労していない人は「退職」というグループに分類しました (表 1)。



▲図 1：グループ別の抑鬱尺度 (CES-D)

図 1 に表した 4 つのグループを抑鬱尺度で見ると、「妻 & 母」グループは出産後 4 カ月で大きく落ちてから少し持ち直し、そのまま上らずに維持されていきました。「キャリア & 家族」と「再就職」グループではもう少し肯定的な変化が見られ、抑鬱尺度のスコアは下がっていきました。唯一違う挙動を見せたのが「退職」グループで、特に第 1 子を出産した母親に典型的だったのですが、当初は他のグ

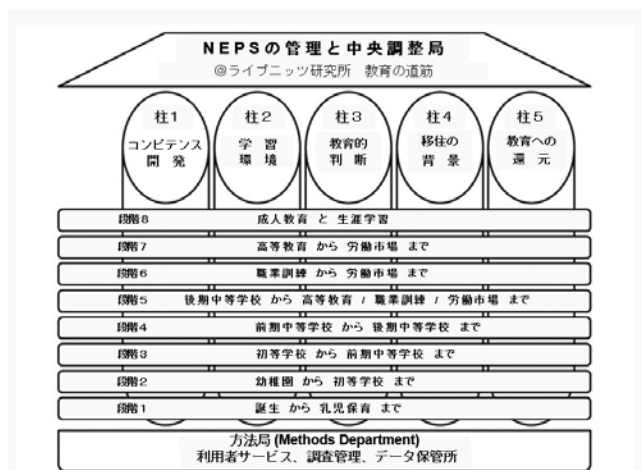
ループと比べて非常に低い得点を示していたのですが、出産後に得点が逆に上がっていく傾向を示しました。

【長期縦断研究・E C E C改革への示唆】

子どもが生まれることが家庭に与える影響を調査して、退職した母親の抑鬱尺度の得点が高くなっている状況があることが分かりました。個別の夫婦はそれぞれの困難として、子どもが生まれてからの夫婦関係や家庭内の困難を感じています。ただし、この調査結果を見ると、個別夫婦の問題とは異なるもう一つの構造的な問題として、3歳未満の保育所の不足を原因とする女性の非就労が、家庭がうまくいくことを困難にする要因であることが明らかになりました。そこで、私たちが出した国家報告書の結論の一つは、保育所の拡充、特に3歳未満の保育所の定員の拡充が必要だということです。

【ドイツ教育パネル調査】

次に話題を変えて、乳幼児期の学びがその後にどのように影響を与えるかを調査する、ドイツにおける子どもの縦断研究を紹介します。ドイツでは、幼児教育がその後の人生にどのような影響を及ぼすかを示唆する研究データが非常に少なかったこともあ



▲図2：ドイツ教育パネル調査・理論的枠組み

り、[ドイツ教育パネル調査]を始めました。まだ研究を始めたばかりなので、研究結果をお伝えするのではなく、研究がどのように設計され、実施されているかをご紹介します（図2）。

この調査は生涯にわたる学びを対象にしており、調査対象が新生児の時点から調査をはじめ、最終的には成人になって仕事に就き、その職業に関する訓練を受けたり、生涯教育で学び続けるところまでを追跡していきます。

5つの柱に焦点を合わせて調査を進めています。1つ目の柱は[コンピテン্সの開発]で、特に認知的能力と言語的能力の発達を調べます。2つ目の柱は[学習環境]で、これがコンピテン্সの開発に対して大きな影響を与えていると考えています。3つ目の

ポットは毎月CD-ROM付き！

チャイルドブックの月刊保育雑誌

ポット

価格 本体 1,000円 + 税

好評発売中！

チャイルド本社

保育に役立つアイデア満載！

行事

遊び

食育

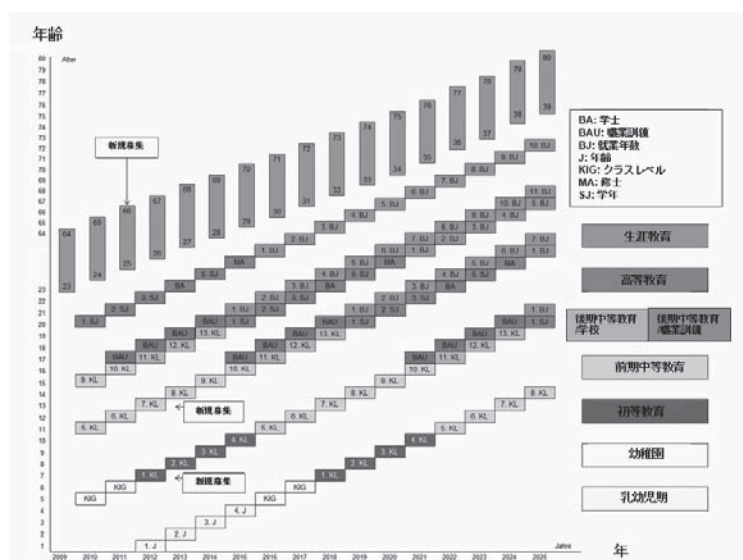
0・1・2歳児

〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21
TEL 03-3813-2141 FAX 03-3814-3392
<http://www.childbook.co.jp/pot/>

柱は「教育的判断」で、社会学的観点からも重要になってくるだろうと考えています。4つ目の柱は「移住の背景」で、この研究では難しい家庭環境で育っていく子どもたちにも焦点を合わせようとしています。5つ目の柱は「教育への還元」で、調査対象の教育的な成功からどのようなよい成果があるかを学び、それを社会的・個人的に還元することも重要な要素として考えています。

この調査では、5つの柱それぞれを測定する道具を開発する必要があります。例えば柱1に関しては、コンピテンスの測定を新生児から幼稚園、初等・中等・高等教育、成人教育まで測定する必要があります。同様に柱2の学習環境に関しても、それぞれ異なる施設や人生の時点について観察し、測定していきます。それらのデータ収集の方法は、自己申告やアンケートだけでなく、試験も行いますし、各教育施設からの質的データも利用します。

表2の縦軸は調査対象の年齢で、横軸は西暦です。例えば幼稚園に関しては、2010年から第1群を調べていますが、2012年に新たに調べ始めたコホートが幼稚園に上がったときには、同じ理論的枠組みと測定方法を用いて、同じ年齢の子どもたちを調べていくという連続的な研究デザインです。違う年代



▲表2：ドイツ教育パネル調査・順次性の設計

の子どもたちを同じ年齢・同じ測定方法で調査・追跡するので、例えば3歳未満児の教育改革などの社会的変化が、子どもたちの発達どのように影響するかを確認できることが、このように設計した縦断的調査の利点です。同時に複数群で調べているので、一人ひとりの子どもの個別の発達を分別できるという利点もあります。

次頁掲載、表3にサンプル数を示します。乳幼児期から調査する3,481人が、最初の調査対象集団です。参加者には子どもと母親、保育士が入っています。幼稚園と小学校はまとめていますが、この調査では幼稚園で3,000人以上、小学校で6,300人以上を追跡します。ドイツ教育パネル調査に参加し

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8
幼児教育事業部

お問い合わせは
フリーダイヤル 0120-833-415

園ぴゅう太のメールサービス

サーバー二重化!

らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。

スマホで

らくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。

**ぜ～んぶ学研に
おまかせ!!**

心機一転！
リニューアル

オリジナル！
**キャラクター
ロゴ**

Flashで
動画!

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新
もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも
システム併用でご対応いたします。

ている大学、研究所の一覧を当日のスライド資料 p41 に載せています。ミュンヘン大学や私が所属しているドイツ青少年研究所も参加しています。

私たちが一番興味を持っているのは、やりとりの深さや、スタッフの応答性といった「教育的なプロセスの質」です。例えば、共同注意や足場がけが起

きているときに、私たちはそれを実りのあるよい保育と呼びます。また、理論的にもデータの的にも、「構造的条件」が教育的プロセスの質に影響することが明らかになっています。構造的条件の中では、就園率やスタッフと子どもの比、集団構成、スタッフの資格要件などが影響を及ぼすことが明らかになっています。

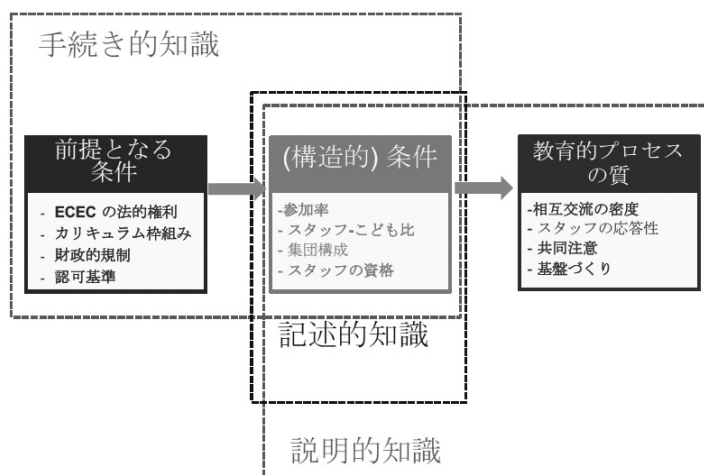
「記述的な知識」、すなわち構造的条件について明らかにするためには、公的なデータが必要です。また、構造的条件のうちの

開始コホート	対象	単位	参加者
SC1: 乳幼児期	個人	3,481	こども、母親、保育士
SC2: 幼稚園 小学校	施設 施設	3,007 6,342	こども、両親、保育者、園長 学生、両親、教師、校長
SC3: 第5学年 第7学年	施設	6,112 2,205	学生、両親、教師、校長
SC4: 第9学年	施設	16,425	学生、両親、教師、校長 学生、両親、教師、校長 学生
SC5: 高等教育を受ける学生	施設	17,910	大学生
SC6: 成人教育と生涯学習 第3群	個人	13,576 5,208	成人

▲表3：ドイツ教育パネル調査・サンプル数

【論考】

最後に一般論として、科学的・実践的な研究が、私たちのECECの改善や改革にどのように寄与するかについて話します。研究知見を踏まえ、ドイツではECECの拡張が実行され、より多くの子どもたちがECEC施設に通うことができるようになりました。次の課題は、ECEC施設でどのような質のサービスを提供できるかということです（図3）。



▲図3：ECECの質に関する枠組み

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

月刊 保育とカリキュラム

毎月2日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

どの要因が教育プロセスのどの要因に影響するかという「説明的な知識」を得るためには、大規模な調査を行い複数の要因がどのように相関しているかを調べる必要があります。大規模な量的調査の他には、質的な研究を通してECEC施設の中で何が起きているかをより深く知ることができます。

もう一つ、非常に重要な研究の方法として縦断研究があります。縦断研究には、長期的にどのような成果や影響があるのかを調べる側面と、介入調査としての側面があります。介入調査とは、よい結果につながる（であろう）と考えられる介入を施した一つの群と、介入をしていないこと以外の条件は揃えたもう一つの群を設定して、2群の違いを調べること、実験で施した介入が実際の育ちにどのように影響するかを調べるものです。

ドイツ青少年研究所では、このような政策が必要である、あるいは、社会的にこのような関わりが好ましい、といった提言を行います。政治的・政策的に影響を与えられるものは、真ん中の構造的条件です。例えば、スタッフと子どもの比や集団構成、スタッフが保有すべき資格の要件などに関しては政策的に決めることができます。そういった提言をするためには、[前提となる条件]のうちのどの要因が構造的条件のどの要因に影響するかという「手続き的知識」が必要になります。そのためのデータを収集する役割もドイツ青少年研究所にはあります。そういったデータを得るためには、また異なった研究の方法が必要になってきます。

ドイツにおける成功経験の一つとして挙げられる

のは、[前提となる条件]の設定について、ECECに法的な権利を与えたことです。政治的な方法として取り得る他の選択肢としては、カリキュラムの枠組みを義務化することでどのような教育方法が良いのかを定めること、あるいは、財政的な規制を敷くことで適正で利用可能な保育料を設定するように促すことなどがあります。ドイツでは、州によっては保護者が無料でECEC施設を利用できる地域もあります。もう一つの方法として、スタッフの資格に関する要件を決めることがあります。ドイツでは、ECEC施設を利用できる子どもの年齢を拡張したことに伴い、必要な保育者（保育士・教師）の数が大変多くなりました。そうすると、それまでと同じ方法では十分に高い技能を持つ保育者を確保できなくなり、どのような方策を取ればいいのかを創造的に考えなければいけなくなりました。

【結びに】

実証的な研究には様々な研究方法がある中でも、縦断研究はとても強力な手段の1つです。強力であると同時に、大変コストのかかる研究でもあります。強固なエビデンスを提供する研究方法であることは明らかになっています。研究者の皆さん、それから、行政、政治の皆さまにぜひご協力いただいて、進めていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

（大阪府・ひかり幼稚園／平林祥）



**バス専用機不要！
スマホで簡単バス運行管理！**

くるんとバス

-通園バス位置情報システム-

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットのGPS機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。



いつもNAVI
「いつもNAVI」動態管理サービスfor送迎バス（くるんとバス®）は、株式会社ゼンリンデータコム登録商標です。



株式会社 **チャイルド社** インターネット課

TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

大きな節目の第50回 石川県私立幼稚園振興大会

過日平成29年11月2日(木)ANAクラウンプラザホテル金沢において(一社)石川県私立幼稚園協会、石川県私立幼稚園PTA連合会共催により「第50回石川県私立幼稚園振興大会」が開催されました。

石川県総務部長、金沢市長を始め県内各養成校の代表者の方々に来賓としてご臨席いただき、400名を超える保護者、教職員が相集い幼児教育の原点が家庭にあること、私立幼稚園、認定こども園での教育を通して子どもとともに「生きる力」を学び合うこと、「幼児教育振興法」制定へ向けて積極的に運動を展開することなどが高らかに宣言されました。

記念講演では雅楽師の東儀秀樹氏をむかえ「親がわくわく楽しみながら子どもの人間力を養う子育て」と題して講演いただきました。ご自身の経験を踏まえた現在進行形の教育観は共感できるものがたくさんあり、子どもへのアプローチの仕方など参加者にとって参考にできるものが多くあったようでした。講演の終わりにはサプライズで筆策の演奏があり、まさに第50回という節目にふさわしい実り多い大会となりました。

子ども・子育て支援新制度により各種の幼児施設が混在する現代社会において、子どもを中心に家庭、地域社会、各幼児施設が手を取り合いしっかりと連携をして支え合っていくことの重要性を再確認するとともに、われわれ幼児教育に携わる者へ付託された責任の重さをかみしめ、今後も私立幼稚園振興のため邁進することをあらためて誓い合う機会となりました。

((一社)石川県私立幼稚園協会広報委員長、金沢市・天徳幼稚園／荒井徹成)

すべては子どもたちのために

幼児教育・保育の無償化が進みそうです。例えば、私が学生の頃から、幼保一元化や幼児教育の無償化の話はありました。それから数十年経ち、幼保一元化ではありませんが、新制度等で認定こども園が出来ました。そして、幼児教育・保育の無償化の現実味を感じ取ることが出来るようになりましたが、私の中では「もう少し早く気づいてほしかった」と言うのが本音です。

震度7の地震が2回あった熊本地震からまもなく2年になろうとしています。被害があった地域や園も復興を進めていますが、隅々まで復興が届いていると言うには、まだまだ遠い現状があります。「この先どうしていいかわからない。」という話も聞きますが、それでも前に進もうと皆さん頑張っています。

私の園は、過疎と保育園志向が強い地域にあります。おそらく全国で一番園児数が少ない園です。ですが、少ないからこそ他の園が出来ないことをしています。例えば、種子島宇宙センターに5回連続卒園旅行で行きました。そして、「園児数が少なくても転園するつもりはありません。」「私たちはいろんな園を見てからこの園が良いと決めて子どもを通わせています。」と保護者の方は真剣に言ってくれます。本園の幼児教育・保育に理解と協力をしてくださる保護者の方や日々保育を頑張っている職員がいる限り、「すべては子どもたちのために」と思い、子どもたちと向き合いながら過ごしています。

((一社)熊本県私立幼稚園連合会教育研究委員、球磨郡あさぎり町・認定こども園あおぞら幼稚園／犬童賢樹)

主な会合予定

◎会議

1月30日	団体長会・理事会合同会議	東京・私学会館
2月16日	常任理事会	東京・私学会館
3月13日	理事会	東京・私学会館
4月24日	常任理事会	東京・私学会館
5月8日	理事会	東京・私学会館
5月23日	定時総会	東京・私学会館

※会合の日程は変更になる場合がございます。
予めご了承下さいませよう、お願い致します。

編集後記

どろだんご作りに夢中の年長女兒。

「あのね。ここの砂はとっても大切な砂なの。最後の最後にふりかける魔法の砂よ。」

「そうなのね。園長先生は3日目のどろだんごなんだけど、この砂使っていいかしら？」

「だめよ。だってこの砂は最後にかける砂なので、園長先生のどろだんごはまだ無理で一す。」

「どうしてかしら？」

「だってね。もっとぴかぴかにしないとどろだんごにならないよ。私のは本物よ。ぴかぴかしてるでしょ。それに私のは絶対こわれないよ。ずっとお水つけて磨いているから。」

「そうなのね。ほんとにぴかぴかだね。」

「もう一つ秘密があるんよ。教えてあげようか？でも、うーんどうしようかな？」

しばらく考えて「やっぱり教えてあげる。園長先生好きだから。あのね、どろだんごはママの靴下で磨くんだよ。そうすると、ほらぴかぴかになるんだよ。」

「ほんとにぴかぴかだね。今日はMちゃんにいっぱい教えてもらったね。ありがとう。」

さあ、どろだんごに挑戦しまーす！

(調査広報委員・光岡美恵子)

地域で愛される園になるためのサポートブック

園のリーダーのために

保育ナビ

管理職向け月刊誌

定価：本体価格926円＋税

B5判 72ページ

2018年1月号の主な内容

●特集 これから保育がもっと大事になる理由 ―社会を支える仕組みとして―

昨今、メディアで「保育」の話題が取り上げられる機会が増えていますが、世の中で語られる保育の重要性とはどういったことなのでしょう。立場が異なる3名の方々にお話をうかがいます。

●保育ナビスペシャル対談 園芸を通して自分の暮らしと地球とのつながりを学ぶ ―。そんな物事の全体性に目が向く人を育成するために、必要な教育は何なのか。造園家ポール・スミザーさんをゲストに迎え、そのヒントを探ります。

●スピーチ道場～あなたの言葉で園をもっと輝かせよう！～コミュニケーションにおいては、伝わったことだけが「相手にとっての真実」。重要な情報であるほど聴く側に確実に伝わるように、言葉を吟味し、ビジュアルを活用する等工夫が必要です。



ISBN978-4-577-81418-5

701

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>

ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの **フレイベル館**